

みずほCustomer Desk Report 2016/07/19号(As of 2016/07/15)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	105.66 AUD/USD
TKY 9:00AM	105.14	1.1106	116.82	0.9815	1.3354	0.7612
SYD-NY High	106.32	1.1149	118.36	0.9847	1.3481	0.7676
SYD-NY Low	104.63	1.1025	115.50	0.9783	1.3132	0.7560
NY 5:00 PM	104.92	1.1030	115.68	0.9834	1.3199	0.7575
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	14.875/15.375		Δ25RR	1.200	Yen Call Over	

NY DOW	18,516.55	10.14	債券市場	日本2年債	-0.3300	1.5bp
NASDAQ	5,029.59	▲ 4.47		日本10年債	-0.2250	3.2bp
S&P	2,161.74	▲ 2.01		米国2年債	0.6674	▲0.6bp
日経平均	16,497.85	111.96		米国5年債	1.1038	0.8bp
TOPIX	1,317.10	5.94		米国10年債	1.5509	1.5bp
シカゴ日経先物	16,560.00	▲ 55.00	為替市況	独10年債	0.0060	4.6bp
ロンドンFT	6,669.24	14.77		英10年債	0.8340	4.0bp
DAX	10,066.90	▲1.40		豪10年債	1.9720	1.5bp
ハンセン指数	21,659.25	98.19		USD/CNH	6.7104	0.0180
上海総合	3,054.30	0.28		ドルインデックス	96.58	0.50
USDJPY 3M Vo	13.21	0.24%	商品市況	CRB指数	188.858	▲1.24
USDJPY 6M Vo	12.59	0.15%		NY金	1,327.400	▲4.80
EURJPY 3M Vo	13.84	0.39%		WTI	45.950	0.27
EURJPY 6M Vo	13.42	0.21%		Dubai Spot	42.92	0.43

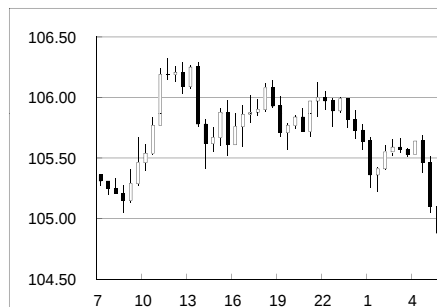
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月15日	09:20	米 カブラン・ダラス連銀総裁、講演	-	-
	11:00	中 鉱工業生産/小売売上高/固定資産投資(前年比)	6月 6.2%/10.6%/9.0%	5.9%/9.9%/9.4%
	11:00	中 GDP(前年比)	第2Q 6.7%	6.6%
	18:00	欧 HICP(前月比/前年比)	6月 0.2%/0.1%	0.2%/0.1%
	18:00	欧 HICPコア(前年比)	6月 0.9%	0.9%
	21:00	英 カーニーBOE総裁、講演	-	-
	21:30	米 小売売上高/小売売上高・除自動車(前月比)	6月 0.6%/0.7%	0.1%/0.4%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	6月 0.2%/1.0%	0.3%/1.1%
	21:30	米 CPIコア(前月比/前年比)	6月 0.2%/2.3%	0.2%/2.2%
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	7月 0.55	5.00
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	6月 0.6%	0.3%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報値	7月 89.5	93.5
7月16日	02:00	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁、講演	-	-

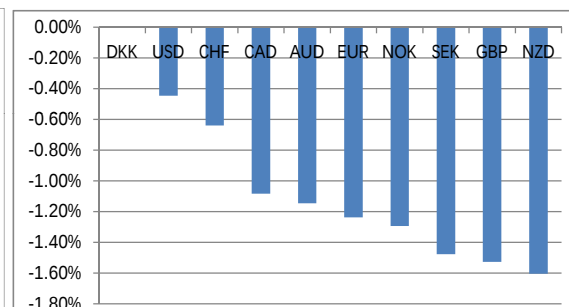
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月18日	-	日 海の日	-	-

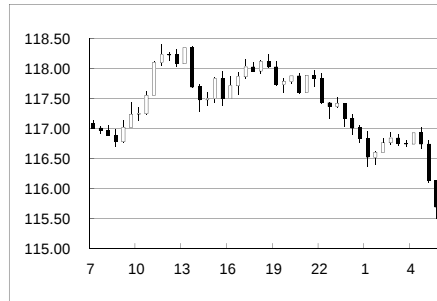
【ドル円相場】



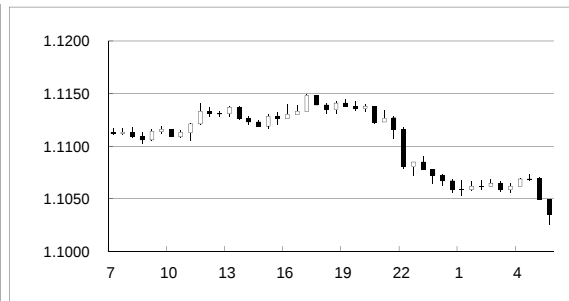
【対円騰落率(日次)】



【ユーロ円相場】



【ユーロドル相場】



アジア	東京時間のドル円相場は105.14レベルでオープン。前日海外時間に仏ノース・テロが発生したものの、高寄りした日経平均株価が上昇幅を拡大したことに加えて、ゴト・日給みの実需勢のドル買い期待等もあり105円台半ばまで上昇。底堅い推移が続く中、中国第2Q・GDP、同6月小売売上高、同6月鉱工業生産が市場予想を上回ると106.00近辺のストップを巻き込んで一時106.32まで上昇。その後は106円台前半での小動きが続いたが、本邦3連休を前にポジション調整の動きが強まったこと等を背景に105円台半ばまで下落。引けにかけてやや水準を戻し105.87レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、105.87レベルでオープン。仏ノース・テロ後の円買いが一服し、106.14まで上昇する局面も見られたものの、この流れは長続きせず反落。105.50まで値を下げ、105.72レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1129レベルでオープン。6月のユーロ圏HICPは予想通りの結果(前年比+0.1%)となり、市場の反応は限定的。同水準でもみ合い推移し、1.1123レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3439レベルでオープン。アンティ・ホールデン英中銀主任エコノミストが8月の英中銀金融政策委員会までに「相互補完的な金融緩和策のパッケージ」を打ち出す必要があると指摘したことで、1.3342まで下落。1.3371レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	ドル円は105.72レベルでNYオープン。朝方は米6月小売売上高が前回分が下方修正されたものの、予想を大きく上回ったことから106.13まで上昇。しかし、米6月CPI(前月比)が予想を下回り、加えて米7月NY連銀製造業景気指数が予想を下回ったことから再び105円台へ下落する。続いて発表の米6月鉱工業生産が予想を上回ると106.05まで戻すものの、7月ミシガン大学消費者信頼感指数がブレグジットを受けた株安を背景に前回から大きく低下したこと、株式市場で利益確定の売りが入ったとの見方が広がったことで105.21まで下落する。午後は、週末を控え105.60付近での推移が暫く続くが、終盤に掛けてトルコでクーデターが発生し、トルコ軍が国を一部掌握したとのヘッドラインを受け、リスク回避の円買いが急速に強まり、一時104.63まで急落し、104.92レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1123でNYオープン。朝方は米6月小売売上高の結果を受けたドル買いに1.1107まで反落。その後も週末を控えた調整の動きに1.1053まで反落する。午後は、狭いレンジでの推移が続くが、トルコのニュースを受け地政学リスクから1.1025まで急落し1.1030レベルでクロスした。(NY 00531 113 682 井上)

担当:坂本 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。